

博物館だより

第61号

2004.8.20

Nagano City Museum

特別展

川中島の戦い

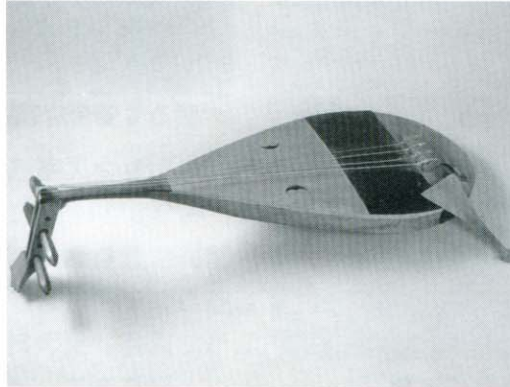
—いくさ・こころえ・祈り—

第2期 7月25日(日)~9月5日(日)

上杉謙信と武田信玄の名宝を「いくさ」「こころえ」「祈り」のテーマに分けて展示します。
両将に関する資料が一堂に会すこの機会、ぜひお見逃しなく。



▲毘沙門天立像(山形・法音寺)



▲琵琶 銘朝嵐(山形・上杉神社)



▲朱札紅糸素懸威胴丸(山梨・美和神社)

“戦国再現 体感川中島合戦”

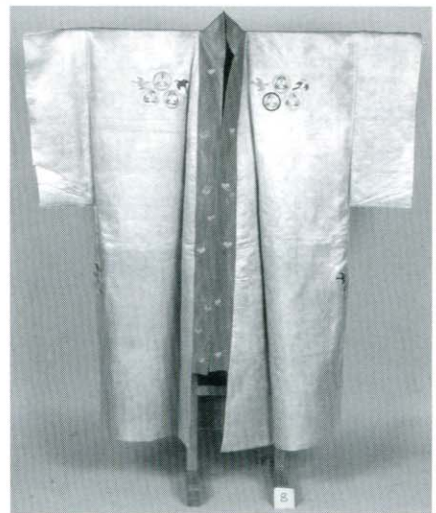
—稲富流古式砲術を見る—

上杉家に伝わる火縄銃の実演を行います。戦国時代
さながらの大迫力の試射をお楽しみください。

- ◆日時 8月28日(土)(雨天の場合は29日)
午後1時30分~
- ◆場所 八幡原史跡公園芝生広場
- ◆出演 米沢藩古式砲術保存会



▲謙信・信玄一騎打ち絵馬(長野・牛伏寺)



▲浅葱綾地竹雀紋繡胴服(山形・上杉神社)

スターウォッチング&ライトダウン2004

あかりを消して星を見よう

8月12日、皆さんに夜の照明のあり方と夜空の星に関心を向けてもらうために、博物館にてライトダウンイベントを行います。当館と市環境管理課では毎年夏と冬に大気環境と星空を考え、実際に星を観察して調べる「スターウォッチング」を行っています。今年は「光害」ひかりがい防止を目指してスターウォッチング事業とタイアップしてこのイベントを行うものです。また、この日はペルセウス座流星群が極大を迎えるため、イベント終了後から晴れていれば流れ星の観察を行うことができます。

【イベントの概要】

とき：2004年8月12日（木）午後6時～

会場：長野市立博物館

主催：ながの環境パートナーシップ会議

共催：長野市立博物館、長野市立博物館友の会
長野市環境管理課

後援：(社)長野県環境保全協会北信支部

- ・ 18:10～18:40 野外小演劇（雑貨団）
- ・ 18:45～19:45 ギターコンサート
（角田忠雄さん）
- ・ 19:00～（4回）プラネタリウム投影
「星が消えていく2001」

20:00 ライトダウン

- ・ 20:00～21:00 スターウォッチング・観望会

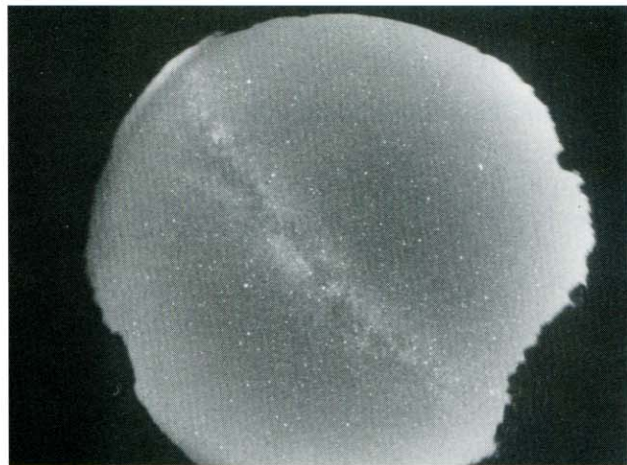
その他屋上の40cm望遠鏡公開もあります。
21:00以降はペルセウス座流星群の観望会に入ります。

すべて申し込み不要、参加無料です。

曇天雨天の場合はスケジュールが変わります。

【光害（ひかりがい）とは】

屋外照明器具から出ている光のうち、目的の外に漏れる光によって起こる様々な悪影響を「光害」といい、居住者、運転者、歩行者への不快な影響、動植物への悪影響、そして星が見えにくくするなどの影響があります。そういった光は害を及ぼすだけでなく、エネルギーの無駄遣いにもなり、地球環境を考える上でも重要な要素の一つになってきます。光害をなくして、快適ですべてにやさしい照明環境を築きあげていきたいものです。



明るく安全な街と美しい星空の共存を目指して

【ペルセウス座流星群】

毎年8月12日ごろ極大を迎えるペルセウス座流星群は最も活発な流星群の一つです。ペルセウス座ガンマ星付近から流れ星が四方八方に流れるように見え、極大時には1時間あたりの換算で50個以上現れます。流れ星をたくさん見るためには星がたくさん見える環境が必要です。

ペルセウス座は暗くなると北東の地平線に顔を出していて、時間とともに高度を上げていきます。Wの字の形をしたカシオペア座のあとから昇ってきますのでカシオペア座が目印になります。

(大蔵 満)



どちらが環境にやさしい照明でしょうか？

「見てごらん。田んぼと小川の生きものたち」

開催中 7月17日(土)～11月7日(日)

田んぼや小川・用水路は、私たちの生活圏内にある、ごく身近な水域です。そこで見られる昆虫、小魚、カエルやイモリなどは、昔から子どもたちにとって格好の遊び相手でした。

しかし長野市の平野部では、河川改修や耕地整理が進んでコンクリート化された小川や用水路が増えたため、水生生物の生息できる場所が少なくなっています。水遊びをする子どもたちもほとんどいなくなりました。

それに比べると、茶白山周辺の棚田やため池群では比較的良好な環境が保たれていて、今でもたくさん生き物を観察することができます。しかし、近年は外来種のブラックバスやブルーギルが急速に生息場所を拡大していて、従来の生き物たちの生息をおびやかしています。

この企画展は、私たちが生活する人里にある水辺を取りあげ、そこに生息しているなじみ深い生き物たちを紹介するとともに、変わりつつある水

辺環境の現状にも目を向けていただきたいと企画したものです。

展示では、ため池や小川にすんでいる魚などを飼育したミニ水族館コーナーや、ホタルの光の体験コーナー、クイズコーナーなどの参加型展示もあって、親子で楽しめる内容になっています。大勢のみなさまのご来場をお待ちしております。

(畠山幸司)



毎月第1日曜日11時～

プラネタリウム字幕投影

平成16年度からプラネタリウムでは毎月1回、字幕付き投影を始めました。これを始めるきっかけとなったのは昨年度、プラネタリウムを見たあとのアンケートに「字幕があったらありがたい」というご要望があったためです。

【専門家の協力】

5月2日(日)に最初の字幕投影を行いました。が、聴覚障害者の皆さんの満足できる投影ができず、字幕の付け方の難しさを痛感しました。以後字幕投影を適切に行うために、専門的知識を持ち、豊富な経験がある長野県聴覚障害者ライブラリーの方々に協力を仰ぐことにしました。字幕の基本的作り方、1行文字数、改行のしかた、表示位置、字幕の決まり事等、プラネタリウムの投影を見ながら子細にご指導いただきました。

【字幕の方法】

当初、生解説、番組投影共に字幕はスライド文字を使用していましたが、変更しにくいと、現在はパワーポイントを使ってビデオプロジェクターで映し出しています。生解説では特に字幕としゃべりが変わらないように心がけています。

【課題】

液晶プロジェクターを使用しているため、画面全体が暗くならず、星空を損ねてしまいます。画面を絞って使っていますが、それでもまだ不十分です。プラネタリウムの演出場所は広いと、表示文字と重なる確率が高く、その場合は文字、演出共に見にくくなってしまいます。

改善すべき点はまだまだあり理想にはほど遠い字幕投影ですが、今後よりよいものを目指して改善を図っていきますので、どうぞ毎月第1日曜日の11時からの投影にお出かけください。

(大蔵 満)



現在、中心市街地活性化事業によってその姿を変貌させつつある善光寺門前町の町並み。その中で、東後町でも今年度から再開発を行うことになりました。博物館では再開発を機に店を閉めることにした増久金物店の土蔵にお邪魔し、様々な道具類の一部を寄贈していただきました。

増久金物店は、現当主の清水治男さんで7代目の商家です。治男さんのおじいさん（5代目）まで代々当主は増屋久兵衛を名乗りました。増久金物店の増久はここから来ているようです。今回お邪魔させていただいた土蔵は、この5代目久兵衛さんが大正4年に建てた4階建ての土蔵です。

土蔵1階は主に生活道具が納められ、2～3階は金物の在庫品置き場として使われていたらしく、薬缶の把手部分が木箱いっぱい詰められていたり、消防のときに使うような白い布製のホースが何巻きも置かれていました。中には竹でできた径16cmほどの輪の束などその用途がわからない物もありました。治男さんに尋ねると、この竹の輪はスキーストックの先端についている丸い部分で、増久では治男さんが子どもの頃、スキーのストックを自分のところで作って売っていたそうです。当時はストックも竹製で、店では晩に家族がお風呂に入った後、その残り湯に一晚竹を浸し、やわらかくしたものを曲げて輪をつくり、竹の棒につけてストックを作ったそうです。その半製品が今も土蔵の中に保存されていたというわけです。

最上階の4階にはほとんど使われなくなった古い筆筒や長持、昔の帳面など大正から戦前にかけての生活道具が収納されていました。その中には市制30周年記念で催された中央勸業博覧会の際に店先に飾られたと思われる広告灯籠や、高さ45cmほどのミニチュアの神楽などがありました。この神楽は治男さんが子どもの頃におじいさんの5代目久兵衛さんが地元の子どものために作ったもので、大工仕事好きでもあったおじいさんはこのような手作りのおもちゃをいろいろと作ってくれたそうです。増久のある東後町では8月に西後町と一緒に道祖神のお祭りを行います。昔はこのときに市内高田の農家の若衆を頼み神楽を出してもらい、賑やかに祭りを行っていました。当

時子どもだった治男さんは地元の子もたちと一緒にこのミニ神楽を担いで若衆たちの神楽の後についてまわって歩いたそうです。

このほかいろいろな資料をいただきましたが、どれも増久というお店の歴史を物語る資料でした。

はじめに触れたように、中心市街地活性化事業の進展で、今後も増久さんのような歴史のある門前商家が姿を消していく可能性が出てくるかもしれません。そのとき、たとえ一部でもそのお店の歴史や生活を物語ってくれるモノを保存することによって、モノとともにモノが語る歴史を後世に伝えていくことが博物館の役割ではないかと思っています。
(細井雄次郎)



▲土蔵を守るお札が壁いっぱいに張られている



▲竹製スキーストックの部品



▲治男さんのおじいさんが作ったミニ神楽